

# 柿木図書館 実習報告

井草中学校 2年生2名のレポートです。  
9月27日（水）～9月29日（金）の3日間、図書館の仕事を体験しました。

## 取り組んだ感想



### 【楽しかったこと】

- ・本の読み聞かせ  
本の読み聞かせ自体がかなり苦手な相手に気持ちを込めて何かを伝えると言う事にとっても不安があったのですが、練習などをして、いざ読んでみると自分自身が楽しむことができ、貴重な体験ができたとともに大きな達成感を得られました。
- ・本を他の図書館に送るため本をちゃんとあるかどうかかくにんして探したり、逆に本をもと場所に戻すなどといったことができて楽しかった。また、本をなおしたり、なつかしい本がさがしていたりするとできてきたりするの良かったです。

### 【大変だったこと】

- ・配架・書架戻し  
慣れていないと言う事が大きいかもしれませんが、配架に限らず図書館での仕事は手作業が多く、1つ1つの本をしっかりと目で確認して表に出すので責任感もあり、配架などの作業はシンプルなのですが大変でした。
- ・お客様の目をきをつけながら本をさがしたりしまったりをしていましたが、なかなかうまくいかず、お客様ゆうせんのはずなのに、自分がじゃまにならないようにどいてくださったりしてしまい、とてもめいわくをかけているきふんだった。

### 【発見したこと】

- ・図書館での工夫  
普段、本は学校の図書館で借りるため違う所を見つけられました。例えば児童書は子どもが見つけやすい様になのか、作者順でなく大きく書かれたタイトル順に並んでいる所などに細かい工夫を感じ、知ることができました。
- ・本のもくじをみてこの本はここにあるとか著者の名前を見てはんだんすることができたこと。また、表の本以外にも関係者しか入れない場所にも本がある。

## おすすめの本の 題名と推薦文



もしくは、  
小さい頃  
好きだった  
本やお話

### 『新世界より』 貴志 祐介／著

1000年後の日本が舞台のSF小説ということで近未来的なものを想像してこの本を手にとってみました。今の日本の秩序が崩壊し、退廃的な世界観をもつ不気味さや恐ろしさを感じるストーリーで、とくに私はその世界観の虜になってずるずると本に引き込まれていきました。壮大な物語の伏線を見事に回収していき、読み終わった頃には大きな旅を終えたかのような達成感と感動があります。人を選ぶ作品かもしれませんが一度手に取ってみてはどうでしょうか。

『黒い本』 緑川 聖司／作

この本には怖い話のエピソードが13話あります。その中でも面白い話を紹介します「みるなよ」です。

この話は、電車にひかれてしまった男の人が、首だけ残して死んでしまうというのが事件の始まりです。

その男の人が他の人に自分だけという気持ちを押しつけるため呪いをかけていたのですが、主人公とあたってしまい主人公が呪われる寸前で助かるという話がとても面白かったです。